

ふれあい

第21号

平成22年5月

特集 患者さま満足度調査報告



本年度入職の、やる気あふれる新人たちです。どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師の紹介

おしらせ 整形外科・肩関節外来を始めました

安全・安心見守り隊 安全対策委員会活動報告

栄養士とつくる 内臓脂肪を減らしてメタボ予防



〒915-8511 福井県越前市府中一丁目5番7号
電話. 0778-22-0336 FAX. 0778-23-4014
e-mail. hp-hayasi@ma.interbroad.or.jp
URL. <http://www2.interbroad.or.jp/hayasi/>

理念

わたしたちはあなたとともに
納得してうけられる医療 安心してうけられる医療をめざします

基本方針

地域一般病院として急性期医療を行います
患者さまの権利を尊重し十分な説明のある医療を行います
地域の医療機関と連携し連続した医療を行います
健康寿命の伸長をはかる医療・在宅サービスを行います
人間ドック・健康診断などの予防医療を行います

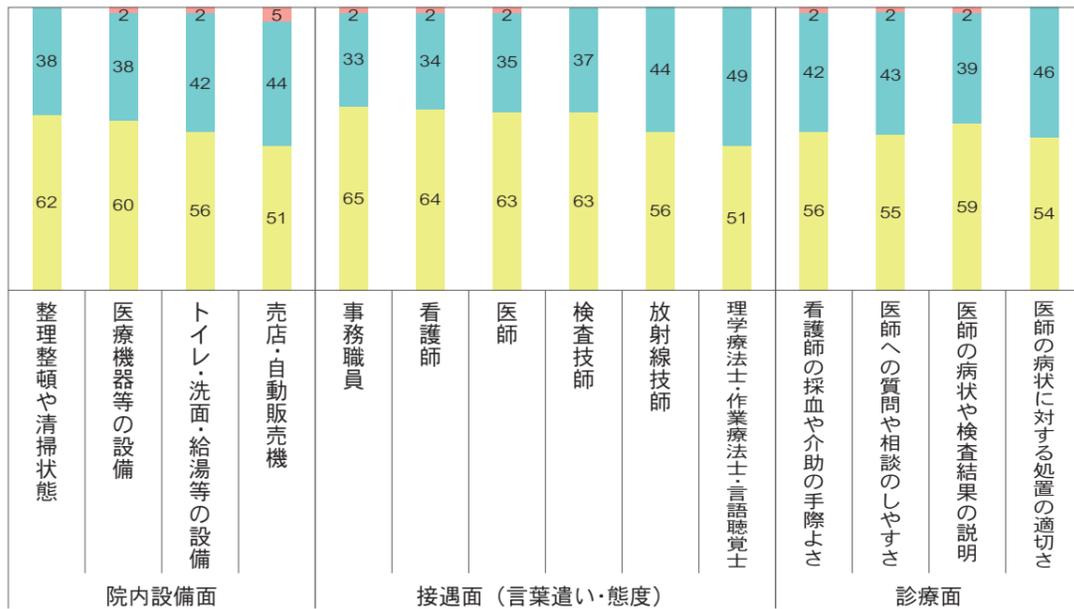
患者さま満足度調査報告

平成21年12月14日から12月28日の期間において、患者さま満足度調査アンケートを実施しました。外来・病棟において各100部配布し、アンケートの回収率は、外来患者さま62%・入院患者さま70%でした。調査結果を報告させていただきます。（接遇委員会）

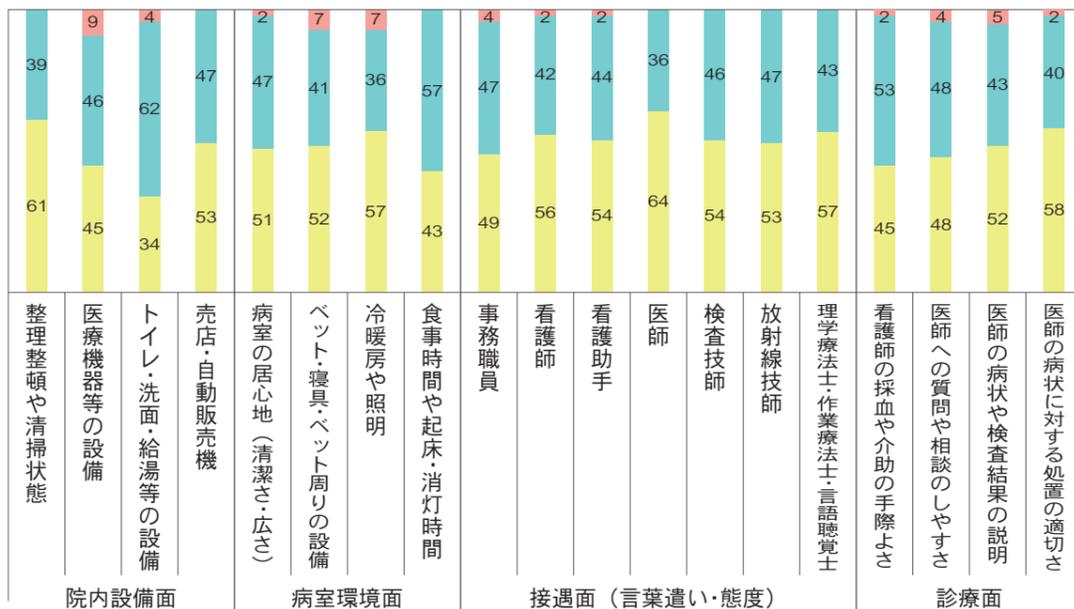
問. 各種満足度についてお聞かせください

答.

外来患者さま



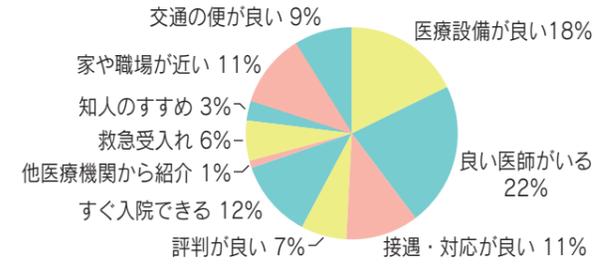
入院患者さま



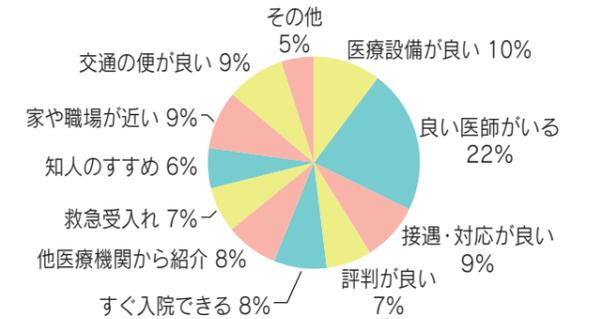
問. 当院の選択理由をお聞かせください

答.

外来患者さま



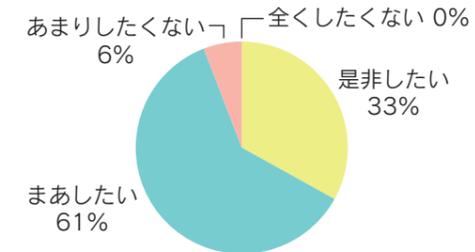
入院患者さま



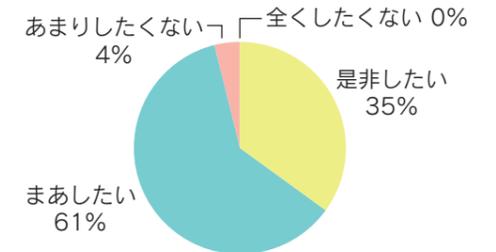
問. 知人等に当院を紹介や推薦したいと思われますか

答.

外来患者さま



入院患者さま



ご協力ありがとうございました

前回のアンケートで、テレビや冷蔵庫に関する御意見が多かった事を受け、本年3月下旬に全病室のテレビシステムの入替えと個別の冷蔵庫の設置を行いました。

接遇面では、前年度より「満足」が低い職種もありました。接遇は職種の問題ではなく「組織全体で取り組むもの」と捉え、林病院医療チームとして接遇への意識が向上するように努力して参りたいと考えております。

アンケートの御協力と貴重な御意見有難うございました。



新しいテレビ、冷蔵庫、ロッカー



脳神経外科 徳力 康彦 医師

とくりき やすひこ

(前 福井赤十字病院副院長)

このたび医療法人林病院にお世話になります。

昭和62年10月に京都から福井赤十字病院に赴任し、福井の魅力に惹かれそのまま22年以上が経ちました。

もともとは悪性脳腫瘍を専門にしていましたが、日赤では脳卒中の方が大勢治療に見えられるので、脳卒中治療に特化してきました。その他、顔のびくつきー顔面痙攣や三叉神経痛の治療を手がけてきました。

脳卒中では如何に早く的確に判断し、診断し、治療が行われるかによって、その方の人生が大きく変わります。最近開発された薬剤では、おかしいなと気づいてから3時間以内に治療が行えるか否かによって、元通りになるかどうかの分かれ道になっています。

林病院では、脳卒中のこの急性期治療に加えて、その後の機能回復についても、積極的に取り組みます。物を飲み込むという嚥下の機能は特に大切です。より後遺症を軽くするために、これらの訓練に重点を置いていきたいと考えています。

病院の機能を十分に生かすためには、患者さんも含めたチーム医療が大切です。今後ともよろしくお願ひします、

専門分野

脳卒中の外科治療

脳腫瘍の外科治療

機能的脳外科

(顔面けいれん

・三叉神経痛)



整形外科

西谷 江平 医師

にしたに こうへい



整形外科

肩関節専門外来

新井 隆三 医師

あらい りゅうぞう



整形外科

谷田 司明 医師

たにだ しめい



脳神経外科

土井 健人 医師

どい けんと



神経内科

江川 斉宏 医師

えがわ なおひろ



内科・消化器科

森 一郎 医師

もり いちろう

整形外科・肩関節外来を始めました

4月から整形外科では、肩関節の専門外来を始めました。

第2・4土曜日午前に診療を行っております。担当医は新井隆三医師です。

なお、診療は予約制となっております。詳しくは整形外科外来までお問い合わせください。



安全・安心見守り隊

安全対策委員会活動報告

安全対策委員会では、病院の理念のひとつである「安心して受けられる医療」を推進するために、安全に関する様々な活動を行っています。その中で重要な活動の一つとしてあげられるのが院内安全パトロールです。毎月1回委員会のメンバーが、分担して院内を回り、危険な所はないか、安全な状態が保たれているか等について、項目ごとに細かくチェックを行います。そして、パトロール結果を担当部署に返し、危険箇所の具体的な改善活動へとつなげていっています。

改善活動の一例をご紹介「病院南玄関入口の段差による転倒事故をなくす」



この段差に
つまづきやすい

段差あり
ご注意ください

当院の南玄関入口には段差があります。この段差に気づかれずに転倒される方が、これまで月に数人は、いらっしゃいました。

段差を取り除く改修を行えば一番良いのですが、建物の構造上それもできず、カーペットの色を変える、段にシールを貼る、貼り紙をする等の方法で事故防止に努めてきました。

しかしこれだけでは転倒事故は減りませんでした。そこで、注意を促すサインを通路真ん中に設置することにしました。これにより段差による事故の報告は^{ゼロ}0になりました。通り道を塞ぐ形になるので、邪魔に思われている方がいらっしゃるかもしれませんが、ご協力をお願いいたします。

安全対策委員会では
今後も患者さんに安心を感じていただけるために『安全』確保活動に努めてまいります。



内臓脂肪を減らして
メタボ予防

ささみの梅しそ巻き

●材料（2人分）

- ささみ …… 4本
- 酒 …… 大さじ1
- しょう油 …… 大さじ1
- こんにゃく …… 1/4枚
- えのき …… 1/2袋
- 大葉 …… 4枚
- 梅干し …… 2個
- サラダ油 …… 大さじ1

●1人分の栄養量

- エネルギー108kcal
- たんぱく質15g 脂質3.5g 塩分2.2g

●作り方

- 1 ささみは、筋を取り除いて観音開きにし、すりこぎで薄くたたきのばし、酒としょう油で下味をつける。
- 2 こんにゃくはサッと茹で5mm角の棒状に切る。えのきは根元を切り落とし、半分に切る。
- 3 梅干しは種を除いて包丁でたたく。
- 4 1にしそをのせ、その上に3を薄くのばし、こんにゃく・えのきを巻く。
- 5 フライパンにサラダ油を熱し、4を巻き終わりを下にして並べ、転がしながら強火で焼く。全体に焼き色がついたら中火にし、ふたをして蒸し焼きにする。
- 6 火が通ったら、切り分けて器に盛り出来上がり。

内臓の周りに脂肪が蓄積する「内臓型肥満」に加えて、高血圧・高血糖・脂質異常の症状が重なった状態が、メタボリックシンドロームです。

管理栄養士 浅井美穂



これらは一つ一つは軽症でも、重なってくると動脈硬化が急速に進んで、心筋梗塞や脳梗塞などのリスクを高めることになるのです。そのため、自覚症状がでていない段階で、早めに生活習慣の予防を始めることが大切なのです。

内臓脂肪を減らす食事のポイント

1 バランスのよい食事を

エネルギー量だけを気にして、偏った食事になっては意味がありません。必要な栄養素を過不足なく摂取できるよう、主食・主菜・副菜をバランスよく摂るようにしましょう。

2 食物繊維の多い食品を摂ろうに

野菜やきのこ、こんにゃく、海藻などは、エネルギーをあまり気にすることなく、不足しがちな栄養素をしっかり摂るのに最適です。食物繊維は、糖の吸収をおだやかにしたり、余分な糖質や脂質の吸収を抑える働きがあります。

3 油控えめの調理法を

揚げ物、炒め物よりも、油を使わない焼き物、煮物、蒸し物がおすすです。油を使う時でも、できるだけ控えめに。

4 ゆっくりよくかんで、腹八分目に

早食いや間食、就寝前の食事は禁物です。